

EPUBリフロー版とは：スマホやタブレットなど電子書籍を利用する端末の設定に合わせてその都度文字の大きさやレイアウトを流動的に表示させることができます。EPUBリフロー版はダウンロードできません。

Maruzen eBook Libraryではタイトルに【スマホ・読上】と入っています。

◆アクセス方法

トップページで「スマホ」と入力して書名検索！
学内で閲覧可能なタイトルのみを検索するときは「購入しているタイトルから検索」を選択

検索結果

「スマホ・読上」を押す

「読む」を押す

別画面が表示されます

閲覧画面へ

※【スマホ・読上付】は【閲覧】(PDF) ボタンと【読上げ】(EPUB) ボタン両方が表示されます。

知的障害、内部障害、発達障害、学習障害、いわゆる「読めない」者、その他図書館が認めた障害を、著作権法第37条の2第1項第2号に規定する「視覚障害者等」として本館に認定し、この法律のより幅広い解釈を示したものであり、シム条約の print disabled (ディスプレイ) 困難な方」の定義が、著作権法による「障害者等を含めたより広義のものが併存の書籍の利用が困難な方を広く対象とする者等」の用語をあてることとする。³⁾

1.3 電子書籍のアクセシビリティ

まえがき

「黒字」という言葉がある。「すみじ」と読む。視覚が不自由な方が利用する「点字」に対する語で、ひらがな、カタカナ、漢字などの筆記文字を指す。本書では、紙に印刷された書籍を「紙の書籍」と表現したが、これが「黒字本」である。

「黒字本」である。いうまでもなく、書籍は私たちにあって極めて重要な情報入手の手段である。視覚が不自由な方や上肢障害の方などは、この書籍へのアクセスが制限される。

電子書籍のアクセシビリティは、電子書籍のアクセシビリティは、電子書籍「平成 22 年度新 ICT 利活用サービス推進協議会が受託したプロジェクトが「ア」であった。

電子書籍には、さまざまな規格があることができるか否か、文字の拡大・縮小で自動的な。アクセシビリティの観点からは、

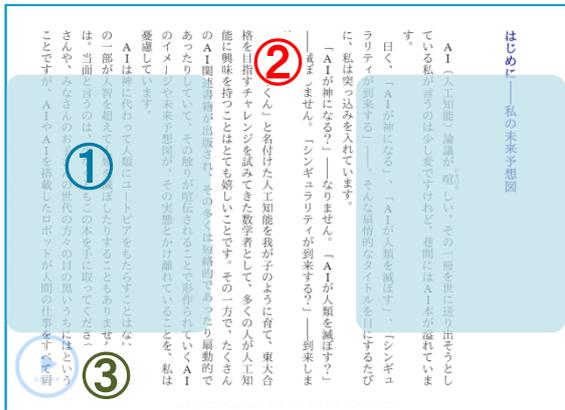
「紙の書籍の図書館等による断りのない限定し、「視

る。例えば、電子出版サービスの実現

音声読み上げ(対応)の4

応が望ましい

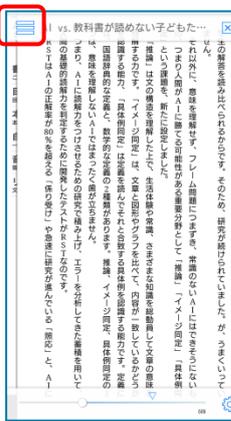
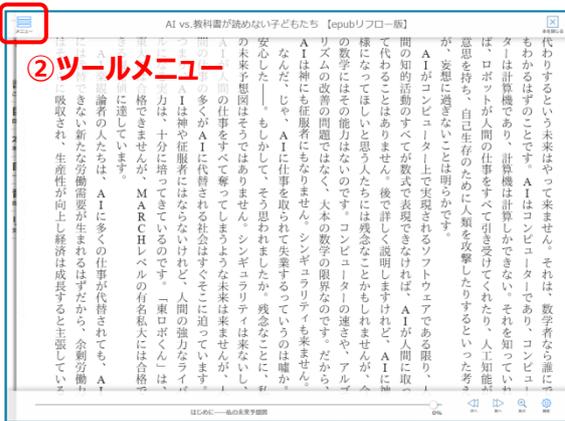
◆ビューワーの使い方



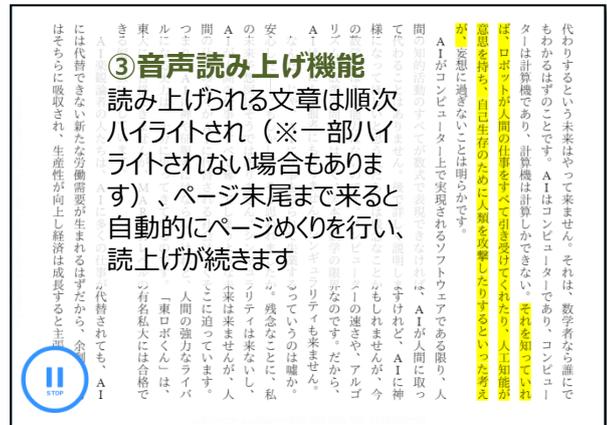
①画面の右側・左側(青いエリア)をクリック(タップ)することでページを移動することができます。スマホ・タブレットの場合はフリックでもページ移動ができます

②画面の白いエリアでクリック(タップ)するとツールメニューが表示されます

③  読み上げボタンを押すと音声読み上げが始まります



② ツールメニュー



③ 音声読み上げ機能

読み上げられる文章は順次ハイライトされ(※一部ハイライトされない場合もあります)、ページ末尾まで来ると自動的にページめくりを行い、読み上げが続きます

◆ ツールメニュー



文字サイズを変更できます

色反転: 表示色を反転します

速度: 自動ページ送りの速度を5段階で設定できます

読み上げ速度: 音声読み上げの速度を5段階で設定できます

読み手: 男性か女性かを選べます

※最後に左上の「設定を反映」ボタンで各設定が反映され、閲覧画面に戻ります